



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 株式会社 シモジマ

コード番号 7482 URL <https://www.shimojima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 義彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役上席執行役員 (氏名) 小野寺 仁 TEL 03-3862-8626

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 無

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	49,529	6.2	3,116	22.1	3,402	23.2	2,288	22.0
2025年3月期第3四半期	46,654	4.6	2,553	△18.6	2,762	△19.3	1,876	△17.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,442百万円 (28.4%) 2025年3月期第3四半期 1,902百万円 (△17.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	97.90	—	—
2025年3月期第3四半期	80.38	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
		百万円	百万円		
2026年3月期第3四半期	44,760	36,394	81.2	1,553.11	
2025年3月期	41,843	35,178	83.9	1,502.89	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 36,328百万円 2025年3月期 35,108百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 54.00
2026年3月期	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 —	円 銭 27.00	円 銭 54.00
2026年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	63,500	4.6	3,575	19.7	3,800	15.0	2,500	19.7	107.02	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ： 無 |
| ④ 修正再表示              | ： 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	23,647,826株	2025年3月期	23,647,826株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	257,190株	2025年3月期	286,943株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	23,378,738株	2025年3月期 3Q	23,350,349株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日）における我が国経済は、企業収益の改善を背景に、緩やかな回復基調にあります。一方で、地政学的リスクの拡大や国内政局の不確実性は顕在しています。加えて円安に伴う物価上昇に賃金の伸びが追いついておらず、消費者心理に抑制的影響が出ています。そのため、景気の先行きは依然として不透明です。

当社グループが属する業界においては、脱プラスチックの流れはますます加速しており、カーボンニュートラルや循環型社会を意識した環境配慮型商品の需要が拡大しています。

このような状況のもとで当社グループは、「“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」と定めた長期ビジョンの実現に向けて、中期経営計画に沿った活動を継続しております。

#### （販売部門別活動の状況）

当社は、営業販売部門、店舗販売部門、通信販売部門の3つのチャネルを有しています。

##### 〔営業販売部門〕

営業販売部門では、既製品の主力商品の拡販と特注品の受注活動に注力いたしました。また環境配慮型商品の需要拡大もあり売上は増加いたしました。

##### 〔店舗販売部門〕

店舗販売部門では、年末に向けたイベント需要が旺盛であったこともあり店頭売上は微増で推移しました。また、店舗外商活動において新規開拓・既存深耕による既製品・特注品の獲得が奏功し、売上は増加いたしました。

##### 〔通信販売部門〕

通信販売部門では、自社ECサイト「シモジマオンラインショップ」において、「シモジマモール」への商品掲載点数が増加したことにより売上は好調を維持しています。しかし、2025年3月期まで連結対象であった株式会社グローバルブランドが、連結対象から外れた結果、連結での売上は減少いたしました。

これら各チャネルの活動の結果、グループ全体の売上は、前年同期比で引き続き増加しており、過去最高売上高を更新しています。

利益面では、環境配慮型商品を始めとした当社オリジナル商品及び特注品の販売が好調であったことから粗利率が改善し、また売上原価においては、前年同期に比べ原材料価格が安定して推移したことにより売上総利益が増加いたしました。経費面では、物流費の増加やベースアップに伴う人件費の増加はありましたが、他の管理費の抑制に努めたことで、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で増加いたしました。

この結果、連結売上高は495億29百万円（前年同期比6.2%増）、連結営業利益は31億16百万円（前年同期比22.1%増）、連結経常利益は34億2百万円（前年同期比23.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億88百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

#### （商品セグメント別活動の状況）

当社事業は主に紙製品事業、化成品・包装資材事業、店舗用品事業の3つの商品セグメントで構成されています。

##### 〔紙製品事業〕

紙製品事業は、当社創業以来の主力事業としてオリジナルブランドの紙袋、包装紙、紙器を中心に販売しております。食品用袋の需要が堅調だったことと、オリジナルブランドの紙袋も売上増加に寄与したことで、紙製品事業全体の連結売上高は80億75百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

##### 〔化成品・包装資材事業〕

中核の化成品・包装資材事業においては、既製品のポリ袋、PP袋が好調で売上を伸ばしました。またコップ、容器を軸とした食品包装資材関連の販売が大きく伸びたことで、事業全体の売上増加に寄与しました。その結果、化成品・包装資材事業の連結売上高は302億51百万円（前年同期比7.3%増）となりました。

### 〔店舗用品事業〕

店舗用品事業においては、「店舗及びオフィスで使用するあらゆるものが揃う」をコンセプトに取組んでおります。事務用品・衛生用品の販売が好調で店舗用品事業の連結売上高は112億3百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

#### （トピックス）

①2025年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞

##### 受賞商品

i) PFASフリー耐油袋

フッ素化合物を使用しない身体にも環境にも優しい商品で、市場の要請に迅速に対応した点が評価されての受賞となりました。

ii) ペーパーフードトレー

食品スーパーなどで使用される弁当、総菜容器をプラスチック製から紙容器へ提案している商品で、ふたと身がピタリとはまる嵌合性の良さや、未晒し独特の風合いも評価対象となりました。

##### ※グッドデザイン賞とは

暮らしの質の向上や社会課題の解決にデザインを活かすことを目的に、毎年審査されています。公益財団法人日本デザイン振興会が主催する日本で唯一総合的なデザイン評価・推奨をするもので、今回の受賞率は、応募総数の31%とのことです。

詳細：[https://www.shimojima.co.jp/dcmedia/other/news\\_20251015.pdf](https://www.shimojima.co.jp/dcmedia/other/news_20251015.pdf)

②店舗一体型シモジマショールームOPEN

シモジマ浅草橋本店に予約不要のオープンスペース・完全予約制のクローズスペースを備えたショールームを開設

i) オープンスペース

シモジマやパッケージプラザの店舗で一般販売している紙袋や食品包材などの既製品の他、企業や店舗で実際に採用されているお客さまのロゴマークを印刷した特注品などを展示しております。どなたでもお気軽に立ち寄りいただける開かれた空間となっています。商品の入れ替えを随時行いながら、常に変化と発見のある“生きたショールーム”を目指しています。また、同スペースには、食品包材や環境配慮型商品などのお持ち帰り用サンプルもご用意しています。

ii) クローズスペース

多種多様な特注品の事例を取扱うスペースとして、秘匿性の高い商談ルームを設けています。デザイナーへの相談も可能で、特注品製作をお考えのお客さまに具体的なイメージを持っていただきやすく、ご満足いただけるご提案を行っています。

詳細：[https://www.shimojima.co.jp/dcmedia/other/news\\_20251016.pdf](https://www.shimojima.co.jp/dcmedia/other/news_20251016.pdf)

### （2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は447億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて29億16百万円増加しました。流動資産は254億96百万円となり、22億63百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金が7億31百万円減少したものの、売上債権が30億47百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は192億64百万円となり、6億52百万円増加しました。主な要因は、ソフトウェア等の無形固定資産が4億27百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は83億65百万円となり、前連結会計年度末に比べて17億円増加しました。流動負債は71億21百万円となり、16億91百万円増加しました。主な要因は、仕入債務が9億43百万円、未払法人税等が3億6百万円それぞれ増加したことによるものであります。また、固定負債は12億44百万円となり、8百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は363億94百万円となり、前連結会計年度末に比べて12億16百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金が10億27百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント低下し、81.2%となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	8,086	7,354
受取手形及び売掛金	7,133	9,615
电子記録債権	1,246	1,811
商品及び製品	5,737	5,414
原材料及び貯蔵品	505	539
その他	535	768
貸倒引当金	△13	△8
流动資産合計	23,232	25,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,366	5,313
土地	7,760	7,760
その他（純額）	1,045	1,262
有形固定資産合計	14,171	14,335
無形固定資産		
のれん	32	24
その他	846	1,282
無形固定資産合計	879	1,307
投資その他の資産		
その他	3,592	3,620
貸倒引当金	△33	△0
投資その他の資産合計	3,559	3,620
固定資産合計	18,611	19,264
資産合計	41,843	44,760

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	2,942	3,885
短期借入金	—	67
1年内返済予定の長期借入金	44	9
未払法人税等	393	700
賞与引当金	480	254
役員賞与引当金	35	37
その他	1,534	2,166
流動負債合計	5,430	7,121
<b>固定負債</b>		
長期借入金	78	61
退職給付に係る負債	300	348
その他	856	834
固定負債合計	1,235	1,244
<b>負債合計</b>	<b>6,665</b>	<b>8,365</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,405	1,405
資本剰余金	1,280	1,282
利益剰余金	38,564	39,591
自己株式	△318	△284
株主資本合計	40,931	41,994
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	274	299
繰延ヘッジ損益	3	157
土地再評価差額金	△6,203	△6,203
退職給付に係る調整累計額	102	80
その他の包括利益累計額合計	△5,822	△5,666
<b>非支配株主持分</b>	<b>69</b>	<b>66</b>
<b>純資産合計</b>	<b>35,178</b>	<b>36,394</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>41,843</b>	<b>44,760</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	46,654	49,529
売上原価	31,687	33,361
売上総利益	14,966	16,168
販売費及び一般管理費	12,413	13,051
営業利益	2,553	3,116
営業外収益		
受取利息	1	10
受取配当金	10	8
受取賃貸料	130	129
貸倒引当金戻入額	1	33
その他	130	155
営業外収益合計	274	336
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	35	17
不動産賃貸原価	16	17
その他	13	14
営業外費用合計	65	50
経常利益	2,762	3,402
特別利益		
保険解約返戻金	70	—
特別利益合計	70	—
特別損失		
保険解約損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	2,827	3,402
法人税等	950	1,116
四半期純利益	1,877	2,286
非支配株主に帰属する四半期純利益又は純損失	0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,876	2,288

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,877	2,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	25
繰延ヘッジ損益	98	154
退職給付に係る調整額	△15	△22
その他の包括利益合計	25	156
四半期包括利益	1,902	2,442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,902	2,445
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月26日 定時株主総会	普通株式	933	40	2024年3月31日	2024年6月27日	利益剰余金
2024年11月11日 取締役会	普通株式	630	27	2024年9月30日	2024年12月2日	利益剰余金

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年6月25日 定時株主総会	普通株式	630	27	2025年3月31日	2025年6月26日	利益剰余金
2025年11月10日 取締役会	普通株式	631	27	2025年9月30日	2025年12月1日	利益剰余金

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	751百万円	714百万円
のれんの償却額	93百万円	8百万円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	7,671	28,182	10,799	—	46,654	—	46,654
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	22	—	1,114	1,136	△1,136	—
計	7,671	28,205	10,799	1,114	47,790	△1,136	46,654
セグメント利益	886	2,469	466	68	3,890	△1,337	2,553

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は連結グループ内における物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,337百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	8,075	30,251	11,203	—	49,529	—	49,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	21	—	1,179	1,200	△1,200	—
計	8,075	30,272	11,203	1,179	50,730	△1,200	49,529
セグメント利益	915	3,021	517	69	4,523	△1,407	3,116

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は連結グループ内における物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,407百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。